

GE薬協 記者会見

「昨今の品質問題に起因する諸課題の協会の取組みについて」

2021年3月30日（水）に「昨今の品質問題に起因する諸課題の協会の取組み」などについて、記者会見を実施いたしました。



（左から：寺島薬制委員長、澤井会長、佐藤理事長、豊田品質委員長）

冒頭、澤井会長から今回の記者会見実施の背景説明が行われた後、資料（本記事の下記リンクからご参照いただけます）に沿って協会の取組みが報告されました。また会長からは、一連の問題について、「当協会会社の行為は誠に遺憾であると共に、当協会の理事として重く受け止めていること。経営者から社員一人ひとりにいたるまで今一度、認識をしっかりとしなければいけない。関係の皆様（患者様を始めとした医療関係者、保険薬局様、流通関係者、行政当局の皆様）に多大なるご迷惑をかけたことを深くお詫びする」との発言がありました。

その後、質疑応答の時間が設けられ、多くの記者の皆様から、「今回の問題を個社の問題として考えていないか?」「医療関係者をはじめ、患者様からもジェネリック医薬品の信頼を大きく損なった事態を協会としてどのように考えるのか?」「業界団体として、点検するだけで十分だと考えているのか?」等の厳しいご意見・ご質問を多々頂戴いたしました。

最後に、『「構造転換」と中医協の議論で指摘されているが、このような状況の中で、新しい目標設定も困難だと思われる。会長自身はどのように考えるか?医療関係者をはじめ、患者から不信が強まり、信頼を大きく失う事態となっているが、どのように理解を求めていくか。』との質問が投げ掛けられました。これに対して、澤井会長からは、「今回の案件は現実起きた事実であり、ジェネリックの信頼は今までと違って大きく落ちてしまっている。自分たちがどんなに大丈夫だと言っても信じてもらえない状況に

なっている。したがって愚直に、各社が再点検をして、品質を担保した製品以外は市場に流通させないことを実現させるために、各社が製薬業、ジェネリック医薬品業の矜持を持って取組むしかないと考えている」との回答があり、会見が終了いたしました。

(取材：日本ジェネリック製薬協会広報委員会)

<記者会見で使用した資料を当協会サイトに公開しております>

https://www.jga.gr.jp/news/210330_004467.html

説明資料（ジェネリック医薬品に対する信頼の回復に向けた協会の取組みと決意について）

参考資料（ジェネリック医薬品の一層の信頼性確保について）

(ご参考) 会見に関する記事 /3月31日時点

<https://nk.jiho.jp/article/160209>

<https://www.mixonline.jp/tabid55.html?artid=70892>

<https://risfax.co.jp/login>